日刊 動労千葉
85. 5. 23
No. 1945
国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五～六・（公衆）〇四七二（22）七二〇七

わが身裂けても戦争への道は許さない！

忍草入会組合・母の会 2500機動隊に抗し実力決起 (5/17)

この国魂、この怒りを 5・26三里塚へ

三里塚・北富士―国鉄で、中曽根を倒せ！

桧丸尾破壊―東富士軍用道路の建設を阻止するために、忍草入会組合、忍草母の会が建てた管理小屋に対し、五月十七日、山梨県当局、甲府地裁は、二千五百名の機動隊を導入して強制撤去を行い、これに抗議する労働者・学生を弾圧し、不当にも二八名を逮捕した。

三里塚二期着工攻撃の切迫に合わせたこの中曽根の戦争政治の一大エスカレーションを徹底的に弾劾し、粉砕しなければならない。

朝鮮―中東へ直結する東富士軍用道路

来年に迫った大規模な日米共同演習＝侵略実戦訓練＝大軍拡攻撃にあわせた自衛隊北富士演習場（山梨県）と東富士演習場（静岡県）を直結させるための軍用（高速）道路建設に対し、忍草入会組合、忍草母の会の農民は、三里塚の農民と連帯し、「富士を朝鮮―中東へつなぐな」をスローガンに実力闘争を展開してきた。

五月十三日、山梨県当局の「管理小屋撤去と土地明け渡し、立ち木伐採妨害排除」の仮処分申請を甲府地裁が認めたことにより、情勢は一気に緊迫化した。五月十六日午後には、動労千葉三里塚芝山連合空港反対同盟をはじめ、闘う労働者・学生が結集して総決起集会が開催され、強制撤去実力阻止の闘う態勢がうち固められた。

強制撤去に対し母の会を先頭に徹底抗戦

十七日早朝、山梨県、甲府地裁は、二万五千の機動隊を投入して強制撤去を開始し、管理小屋を死守する忍草母の会や学生、抗議のデモ行進を行う労働者・学生に襲いかかり、暴力的に排除し、管理小屋撤去と赤松林伐採を強行した。

こうした暴挙は、戦争への道を突き進む日帝・中曽根体制の軍事大国化攻撃そのものであり、三里塚二期工事と一体となった断じて許せぬ攻撃である。母の会を先頭とした闘う仲間は、敵の凶暴な弾圧にひるむことなく、最後まで果敢な闘いを展開した。十七日午後の集約集会では「小屋は奪われても闘う決意を奪いとることはできない。新たな小屋を建てて闘いぬく」ことを宣言し、「5・26三里塚」大結集の檄を発した。

この偉大な決起に続け

忍草農民の決死の闘いは全国の労働者、人民に大きな感動をもって迎えられている。この闘いに応え、5・26三里塚への総力決起をかちとり、三里塚―北富士闘争に勝利しよう。

東富士道路建設

管理小屋を強制撤去

木に体しばりつけ抵抗

忍草 支援の28人を逮捕

早朝、機動隊2500人動員

木に体をしばりつけて抵抗する反対派を排除する山梨県警機動隊員＝17日午前8時すぎ、山梨県上野原町の桧丸尾で

山梨県・富士山ろく地方に静岡県小山町を結ぶ東富士自衛道路（延長一八・六㌔）の建設に反対している山梨県南都留郡忍野村の忍草（しのぐさ）入会組合（天野重知組合長）と忍草母の会（渡辺喜代会長）の入会地＝小屋、周囲の立木など＝に対する強制撤去が十七日午前から始まった。山梨県の機動隊を動員した甲府地裁の仮処分決定に基づく強制執行。管理小屋のある富士山北麓の桧丸尾の入口で行われた支援の中核派らの学生、鎌田雅利中核派全学連委員長（さん）ら二十八人が公務執行妨害で逮捕されたが、大きな混乱はなく、作業は順調に進んだ。警視庁、関東管区、山梨県警の機動隊、千五百人が警備と妨害排除に当たった。

強制撤去に着手前五時すぎ、甲府地裁都留支部の執行官代行命令による入会管理小屋のうち城への排除作業が始まった。

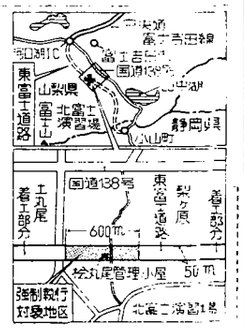
小屋の屋根の後には、午前七時すぎ、二人が小屋の中に入り、まず屋根の上に登って、丸太と内部の砲弾を撤去。同時に小屋外周に張りめぐらされた有刺鉄線、丸太、ベニヤ板などが取り外された。

同時に、道路用地上に横たわれた、二九軍事の八百のアカマツ（八〇本も八百のアカマツ）の切り倒され、午前一時半すぎまでにすべて後退された。

小屋の撤去に先だって午前四時半すぎ、桧丸尾周辺では中核派や急進的な学生ら約八十人が集まり、小屋の屋根の上からは投石を次々と投げた。バケツの水をかけ、消火剤もまかれた。

しかし、機動隊員が一斉にヤグラによじ登って、十分後には中核派の二人を逮捕し、残りの四人を機動隊員が引き降ろした。

小屋の屋根の上には、中核派の二人が残り、投石を続けていたが、機動隊員が一斉にヤグラによじ登って、十分後には中核派の二人を逮捕し、残りの四人を機動隊員が引き降ろした。



1985年 5月17日朝 桧丸尾。（5/17. 朝日(夕)）

'85年度 四月期の定期昇給で妥結

交渉速報

(1) 現場通達 5/23
(2) 引上げ 5/28
(3) 発令 7/15
(4) 精算日は7月20日